



2024年12月期第1四半期
決算説明資料
株式会社ソディック

2024年5月10日



2024年12月期
第1四半期 業績

業績ハイライト(2024年12月期第1四半期)



<p>連結 業績</p>	<p>構造改革実行中も、各事業で業績の反映に及ばず弱い立ち上がり</p> <p>売上高: 156億円 前年同期比 $\Delta 7.4\%$</p> <p>営業利益: $\Delta 7.8$億円 前年同期比 $-%$</p>
<p>工作機械 事業</p>	<p>航空宇宙は回復継続。中華圏の需要は春節後回復しつつある</p> <p>売上高: 114億円 前年同期比 $\Delta 6.2\%$</p> <p>セグメント利益: $\Delta 0.5$億円 前年同期比 $-%$</p>
<p>産業機械 事業</p>	<p>IT関連・電子部品向け等で一部回復も、依然として厳しい状況</p> <p>売上高: 19億円 前年同期比 $\Delta 16.7\%$</p> <p>セグメント利益: 1.2億円 前年同期比 $\Delta 10.0\%$</p>
<p>食品機械 事業</p>	<p>1Q業績は低調も、製麺機及び米飯装置ともに需要堅調継続</p> <p>売上高: 8億円 前年同期比 $\Delta 14.0\%$</p> <p>セグメント利益: $\Delta 0.4$億円 前年同期比 $-%$</p>
<p>その他 事業</p>	<p>金型成形、セラミックスともに低調</p> <p>売上高: 13億円 前年同期比 $+3.7\%$</p> <p>セグメント利益: $\Delta 1.2$億円 前年同期比 $-%$</p>

※ セグメント利益の調整額 $\Delta 6.8$ 億円

決算概要(2024年12月期第1四半期)

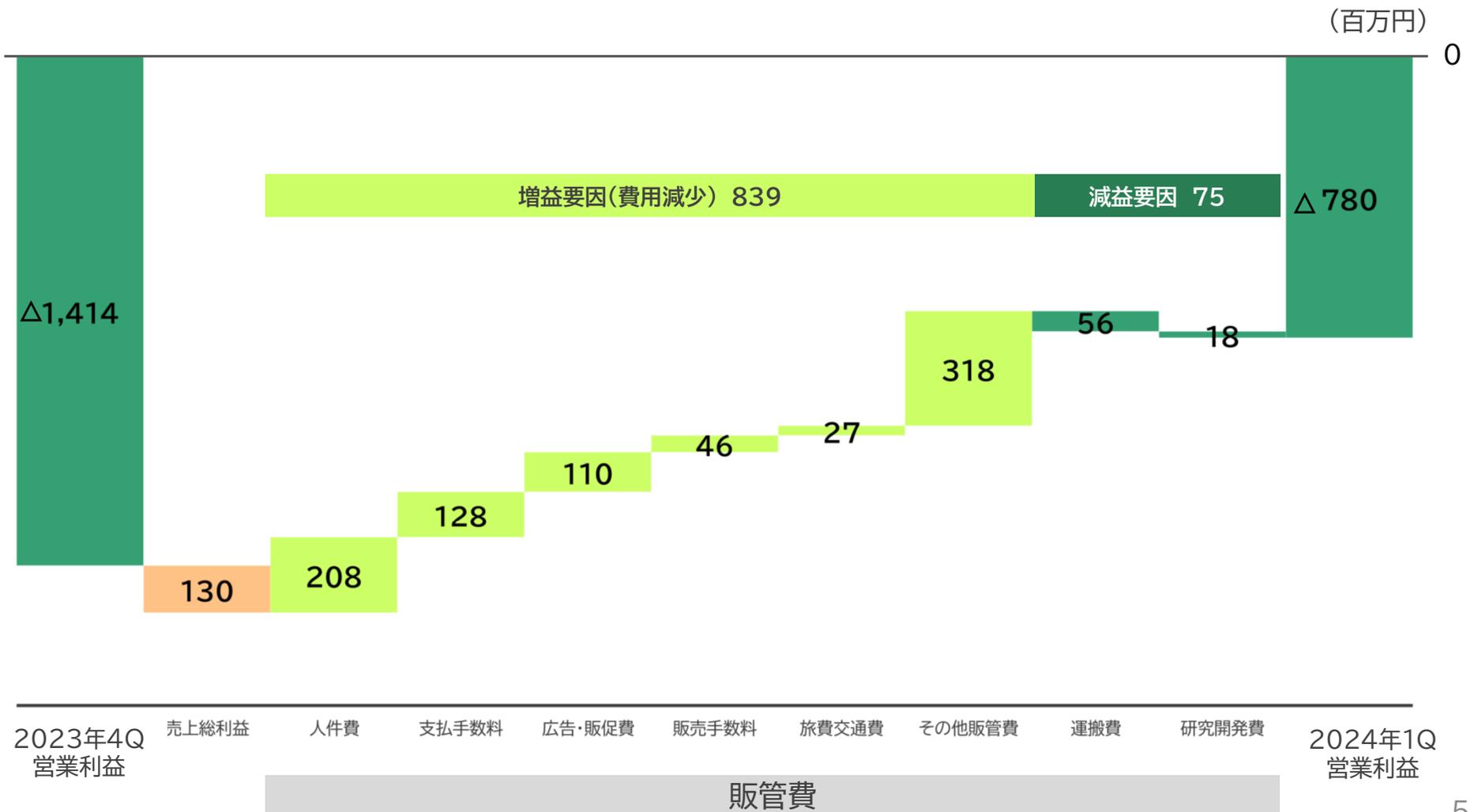


- ✓ 工作、産業、食品の各事業で販売減少し、前四半期比9.3%減収
- ✓ 海外工場での人員適正化や各種経費の削減など、構造改革を推し進めているが、円安やインフレによる原材料・エネルギー価格の高騰等製造原価の高止まりなどにより、約8億円の営業損失
- ✓ 期初からの円安進行により為替差益が発生し、約2億円の経常損失(為替差益 約6.5億円)
- ✓ 構造改革費用(保有社宅売却・海外工場人員最適化)として特別損失約4億円を計上した影響もあり、約5億円の当期損失

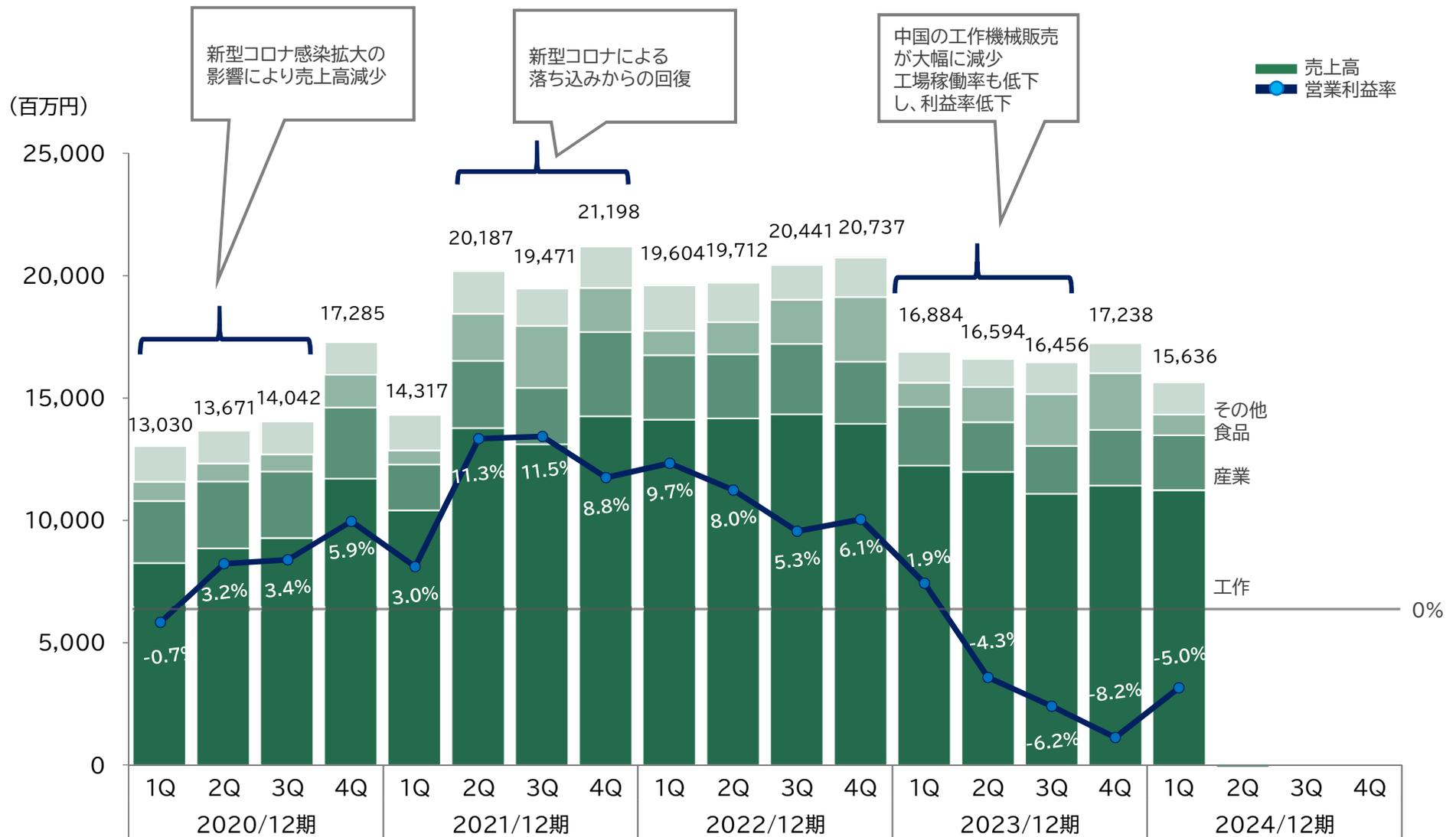
(単位:百万円)	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	前四半期対比
売上高	16,884	16,594	16,456	17,238	15,636	△9.3%
売上総利益	5,310	4,931	4,392	4,647	4,516	△2.8%
売上総利益率	31.5%	29.7%	26.7%	27.0%	28.9%	1.9pt
営業利益	318	△708	△1,014	△1,414	△780	—
営業利益率	1.9%	△4.3%	△6.2%	△8.2%	△5.0%	3.2pt
経常利益	508	333	△492	△1,606	△187	—
当期利益	141	△244	△786	△3,714	△497	—
設備投資額	1,487	1,436	1,306	1,778	1,109	△37.7%
減価償却費	891	923	968	1,008	886	△12.0%
研究開発費	819	886	856	873	744	△14.7%
USD/JPY	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63	7.96安
EUR/JPY	142.16	145.93	149.77	152.11	161.33	9.22安
CNH/JPY	19.35	19.45	19.61	19.81	20.63	0.82安
THB/JPY	3.91	3.95	4.01	4.04	4.17	0.13安

営業利益増減要因

✓ 経費削減の効果もあり、前期第4四半期比で販管費は約7.6億円減少し、営業赤字が縮小。



売上高・営業利益率推移(四半期毎)



USD/JPY	108.86	108.23	107.55	106.76	106.09	107.82	108.58	109.90	116.34	123.14	128.30	131.62	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63			
売上高に対する為替影響額 (各年前年対比)	△5億円				+33億円				+57億円				+17億円				+8億円			

セグメント別業績



(単位:百万円)		2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	前四半期対比
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
売上高	工作機械事業	12,227	11,973	11,084	11,421	11,471	0.4%
	産業機械事業	2,393	2,024	1,949	2,262	1,994	△11.9%
	食品機械事業	998	1,449	2,125	2,328	859	△63.1%
	その他事業	1,265	1,146	1,297	1,225	1,311	7.1%
売上高 計		16,884	16,594	16,456	17,238	15,636	△9.3%
セグメント利益	工作機械事業	1,023	433	△ 48	△ 609	△ 56	—
	産業機械事業	140	△ 134	△ 263	△ 220	126	—
	食品機械事業	△ 44	141	175	603	△ 45	—
	その他事業	△ 0	△ 290	△ 286	△ 377	△ 121	—
セグメント利益 計		1,119	149	△ 422	△ 604	△ 97	—
調整額		△ 800	△ 858	△ 591	△ 809	△ 682	—
営業利益 合計		318	△ 708	△ 1,014	△ 1,414	△ 780	—

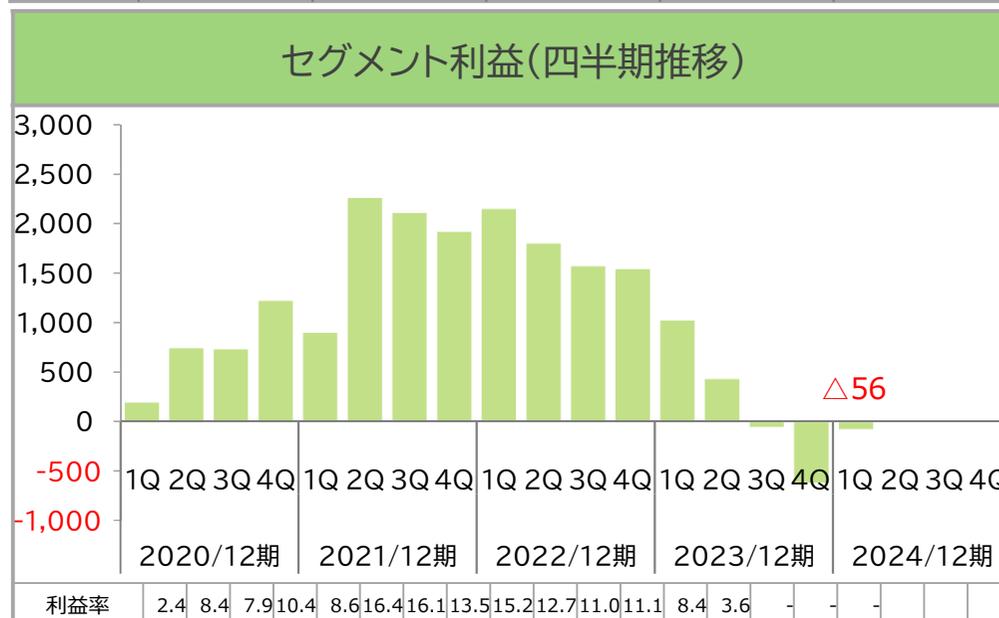
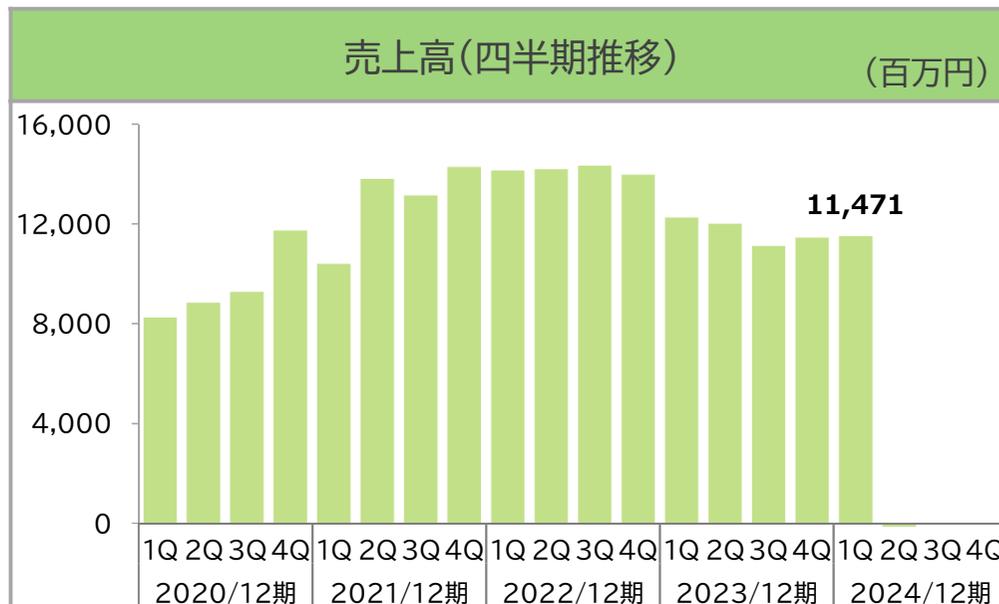
セグメント別業績



■工作機械事業

売上高	<p>日欧米の航空宇宙向け需要は回復傾向</p> <p>中華圏で、自動車、半導体、電子部品等の需要が春節明けに回復しつつある状況</p>
利益	<p>販売台数減少や製造原価の高止まり等により、前年同期比ではセグメント利益が大幅に減少</p> <p>昨年後半からの構造改革で、海外工場の人員適正化や経費削減等により昨年4Q比では収益改善傾向</p>

単位:百万円	2023年 4Q	2024年 1Q	前四半期対比	
売上高	11,421	11,471	50	0.4%
セグメント利益	△ 609	△ 56	553	-
利益率	-5.3%	-0.5%		



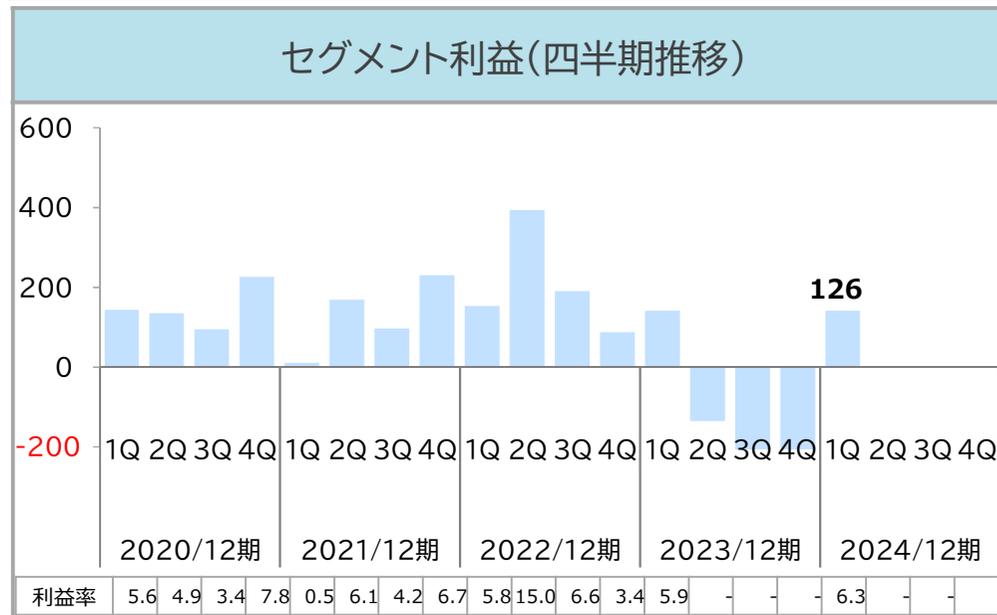
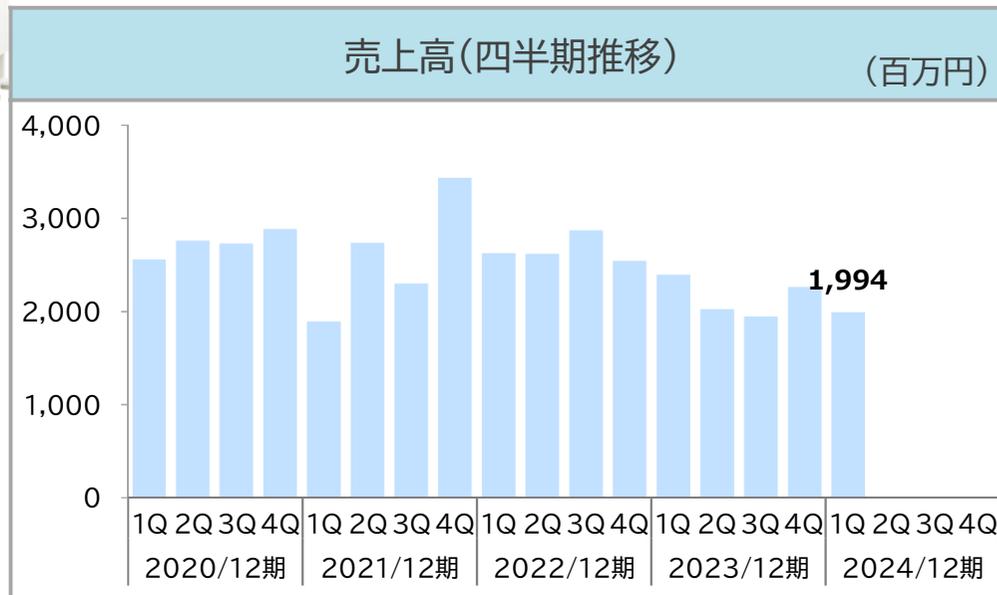
利益率	2.4	8.4	7.9	10.4	8.6	16.4	16.1	13.5	15.2	12.7	11.0	11.1	8.4	3.6	-	-	-	-
-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	---	---	---	---

セグメント別業績



■産業機械事業

売上高	<p>半導体、電子部品向けの市況軟化に伴う顧客の在庫調整や投資先送り等により、産業機械業界全体として、厳しい状況</p> <p>中華圏の電子部品・IT関連で一部回復が見られるも、総じて厳しい状況となり、売上高は減少</p>
利益	<p>長期滞留在庫評価減や棚卸資産廃棄損等を計上したことにより昨年4Qは収益が圧迫するも、今期1Qは同様の一過性要因発生なし。また、展示会出展に係る広告宣伝費の減少等もありセグメント利益は大幅に改善</p>



単位:百万円	2023年 4Q	2024年 1Q	前四半期対比
売上高	2,262	1,994	△ 268 △11.9%
セグメント利益	△ 220	126	346 -
利益率	-9.7%	6.3%	

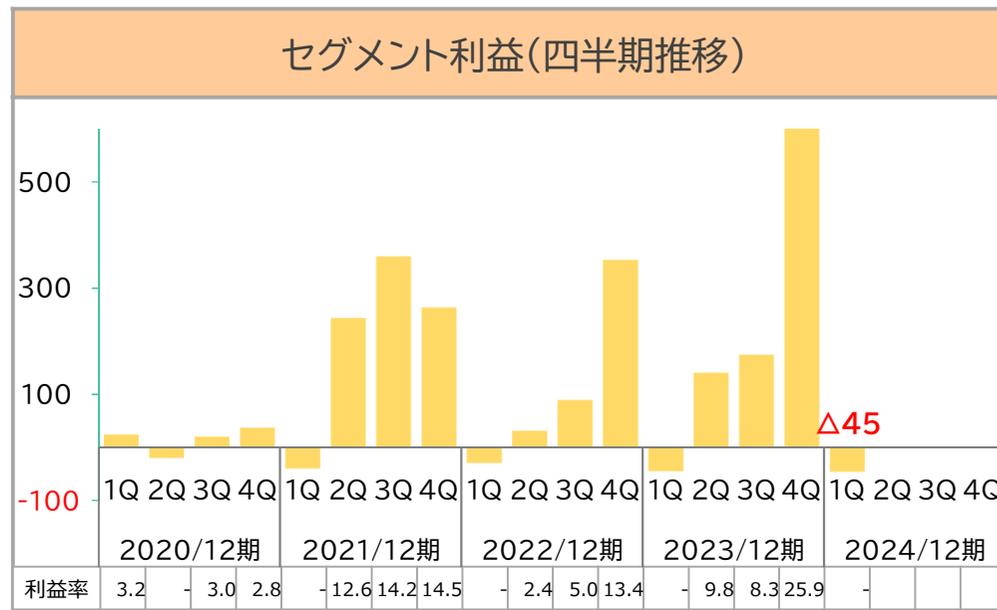
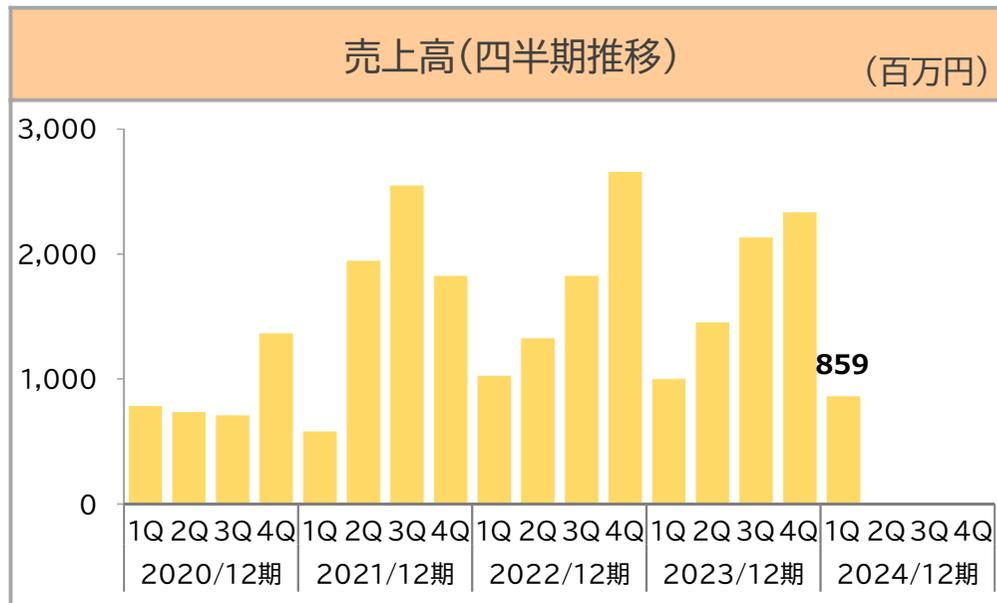
セグメント別業績



■食品機械事業

売上高	<p>1Qは案件の進捗が少なく、売上は前年同期比で減少</p> <p>市況としては、国内外の製麺機関連設備、海外向けの無菌包装米飯製造装置需要が引き続き堅調</p>
利益	<p>売上減少により、セグメント利益も低下</p>

単位:百万円	2023年 4Q	2024年 1Q	前四半期対比
売上高	2,328	859	△ 1,469 △63.1%
セグメント利益	603	△ 45	△ 648 —
利益率	25.9%	-5.3%	

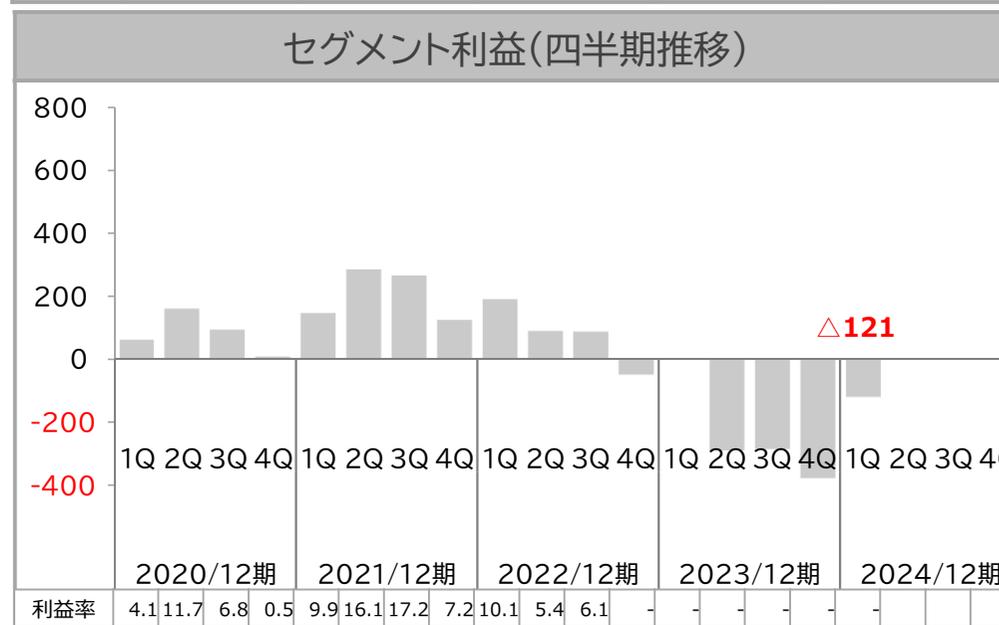
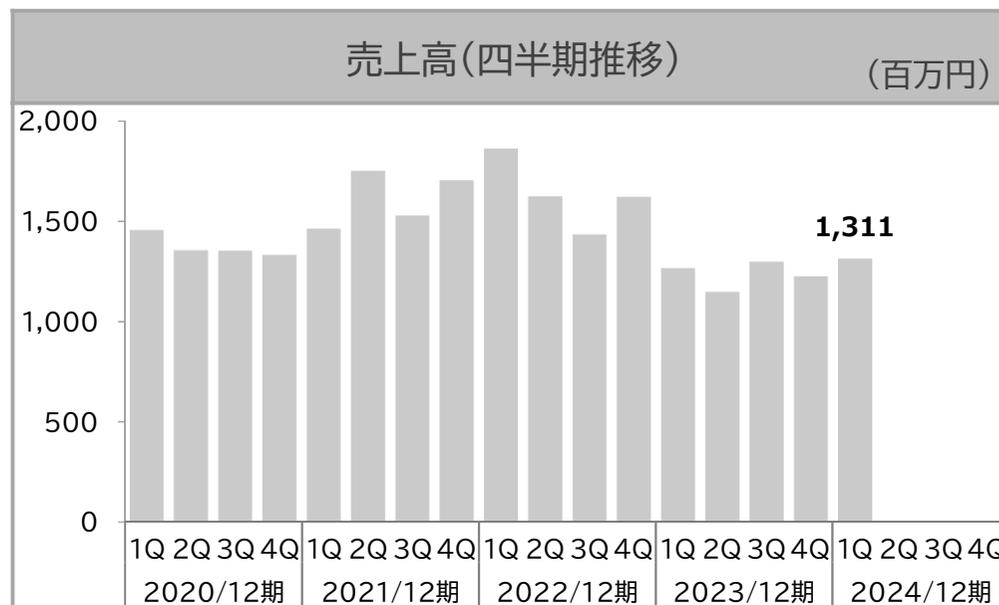


セグメント別業績

■その他事業

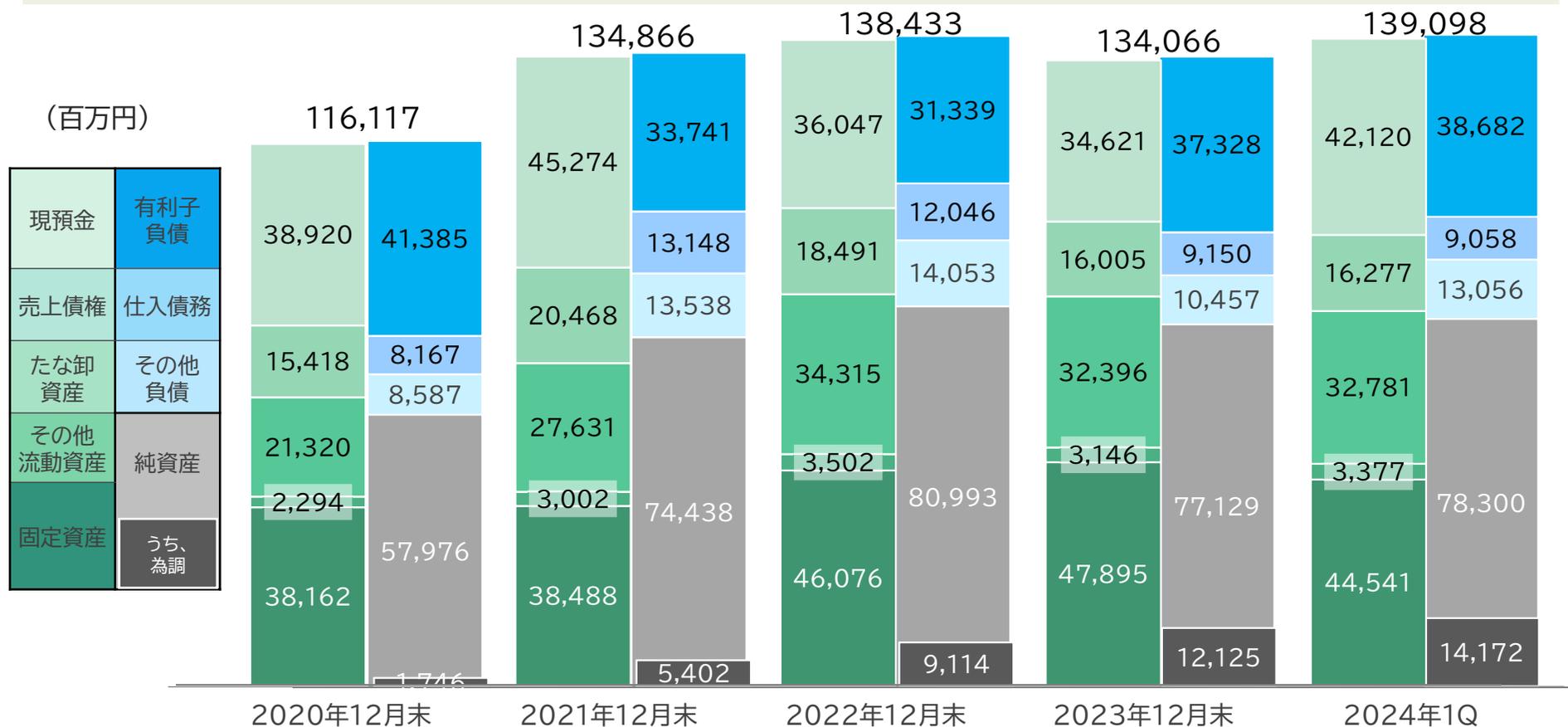
売上高	<p>金型成形事業は半導体不足やサプライチェーン混乱の影響もあり売上高は減少</p> <p>半導体製造装置メーカー向けのセラミックスの需要は半導体市場の在庫調整の影響等により弱含み</p>
利益	<p>原材料高騰や受注減少の影響はあるものの、金型成形事業において工場稼働率がやや改善していることもあり、昨年4Q比では収益が改善</p>

単位:百万円	2023年 4Q	2024年 1Q	前四半期対比	
売上高	1,225	1,311	86	7.1%
セグメント利益	△ 377	△ 121	255	-
利益率	-30.8%	-9.3%		



貸借対照表

- ✓ 総資産は前期末比約50億円増加
 現預金は、固定資産から現預金への定期預金の振替、借入増加、蘇州工場の移転補償金等により大きく増加
- ✓ 円安進行により為替換算調整勘定が140億円まで増加、純資産は前期末比約12億円増加

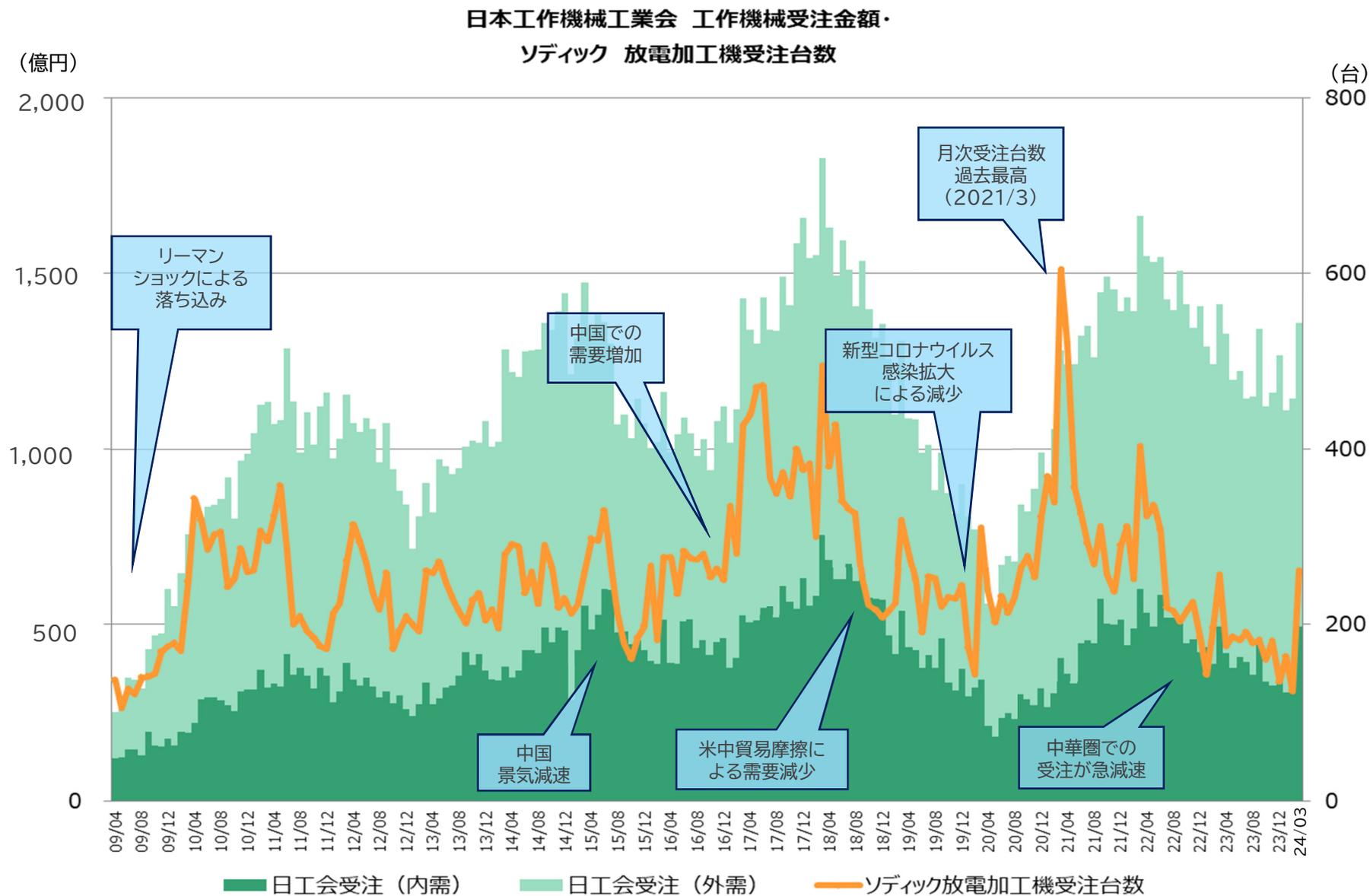


期末日レート USD/JPY	103.50	115.02	132.70	141.83	151.41
自己資本比率	49.9%	55.2%	58.5%	57.5%	56.3%
D/Eレシオ (倍)	0.74	0.49	0.46	0.59	0.62

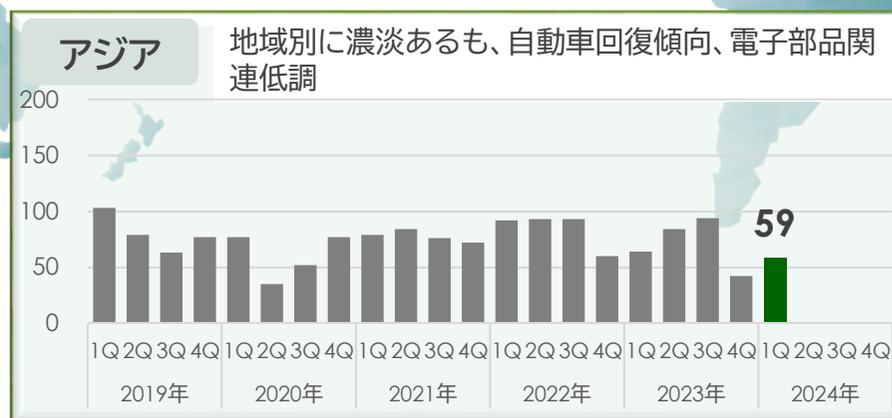
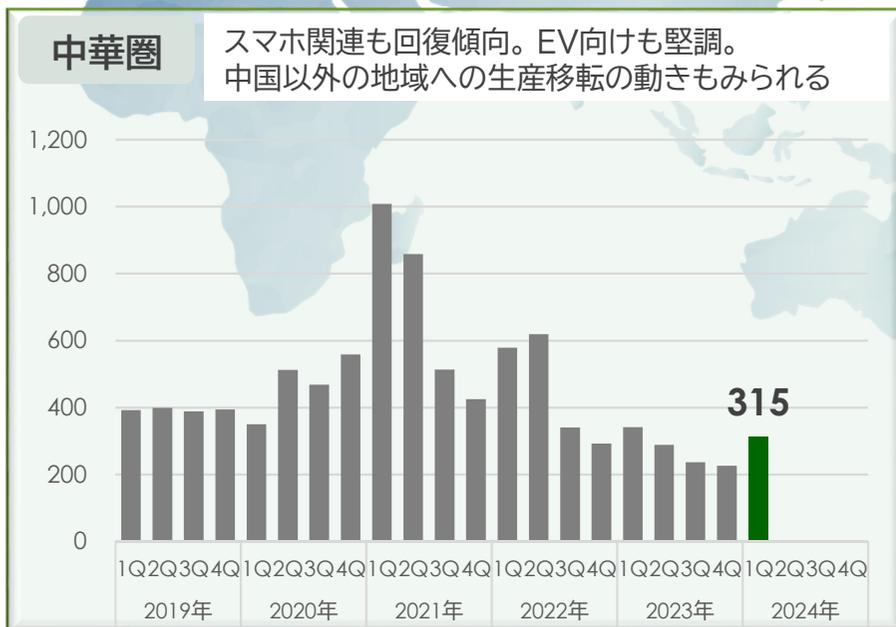
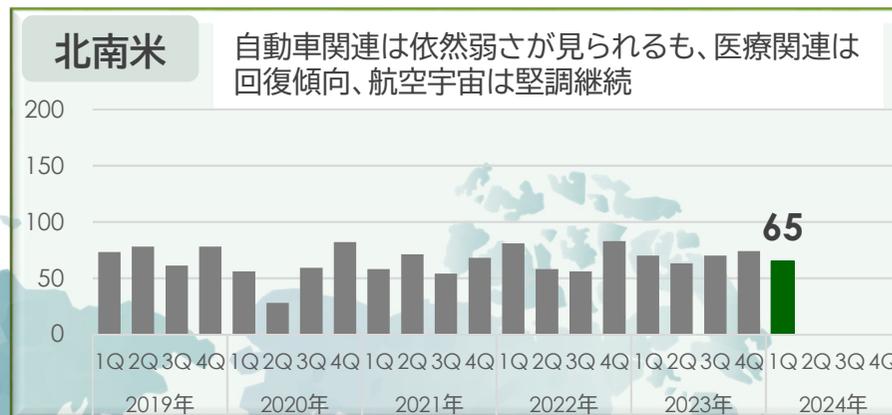
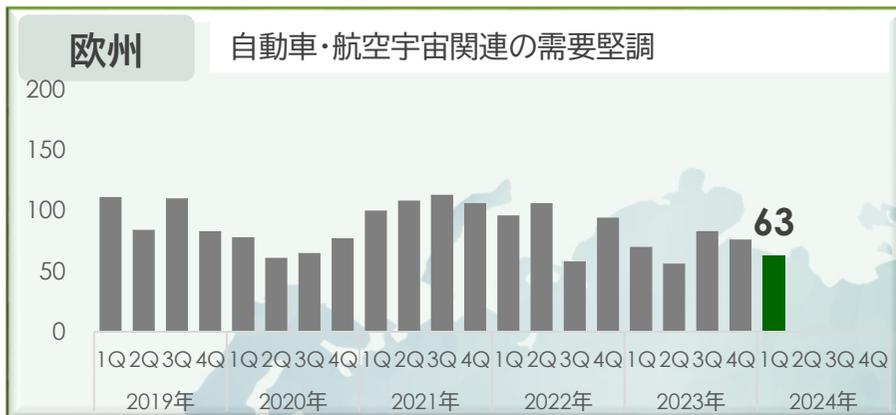


2024年12月期
見通し

日工会受注額 / 当社放電加工機受注台数 推移



放電加工機受注台数 四半期推移(地域別)



2024年12月期 通期業績予想



- ✓ 中華圏市場の需要回復の持続性や、今後の市場環境について不透明性が高く、現時点では期初の通期計画を据え置く
- ✓ グループ全体での構造改革を着実に進め、収益改善をめざす

(単位:百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
					期初計画 (2/13)	1Q実績	進捗率
売上高	58,030	75,174	80,495	67,174	72,200	15,636	21.7%
営業利益	1,852	6,813	5,813	△2,819	1,100	△780	—
営業利益率	3.2%	9.1%	7.2%	△4.2%	1.5%	△5.0%	—
経常利益	2,046	8,588	8,275	△1,257	1,100	△187	—
当期利益	1,346	6,591	6,021	△4,604	700	△497	—
ROE	2.3%	10.0%	7.8%	△5.8%	0.9%		
USD/JPY	106.76	109.90	131.62	140.67	140.00	148.63	
EUR/JPY	121.88	129.91	138.14	152.11	157.00	161.33	
CNH/JPY	15.48	17.01	19.45	19.81	20.00	20.63	
THB/JPY	3.42	3.44	3.75	4.04	4.10	4.17	

2024年12月期 通期業績予想(セグメント別)

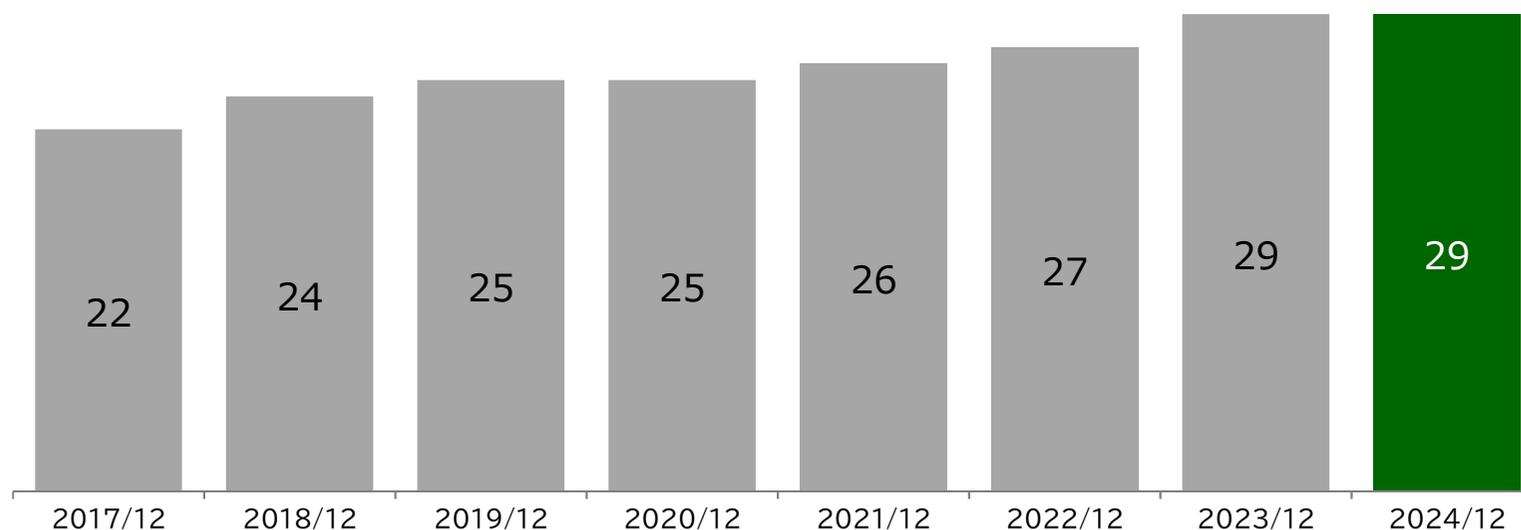
- ✓ 工作:進捗低いが、構造改革・経費削減により2Q以降収益改善を見込む
- ✓ 産業:日本・中華圏の販売が計画を下回っており売上高の進捗が低い
- ✓ 食品:1Qの進捗は低いが、2Q以降に製麺、米飯ともに売上計上が進む見通し

(単位:百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
					期初計画 (2/13)	1Q実績	進捗率
工作機械事業	38,024	51,485	56,492	46,706	49,400	11,471	23.2%
産業機械事業	10,931	10,367	10,656	8,630	9,000	1,994	22.2%
食品機械事業	3,585	6,884	6,813	6,902	8,100	859	10.6%
その他事業	5,488	6,437	6,533	4,934	5,700	1,311	23.0%
売上高 計	58,030	75,174	80,495	67,174	72,200	15,636	21.7%
工作機械事業	2,896	7,176	7,046	798	2,800	△ 56	—
産業機械事業	596	503	820	△ 478	100	126	126.6%
食品機械事業	65	830	447	876	1,000	△ 45	—
その他事業	319	811	313	△ 954	0	△ 121	—
セグメント利益 計	3,878	9,321	8,628	241	3,900	△ 97	—
調整額	△ 2,025	△ 2,507	△ 2,814	△ 3,060	△ 2,800	△ 682	24.4%
営業利益 合計	1,852	6,813	5,813	△ 2,819	1,100	△ 780	—

基本方針

株主資本配当率(DOE)2%以上^(※1) かつ 総還元性向40%以上

■ 一株当たり配当金推移



DOE (%)	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.1	2.2	2.3 (予想)
総還元性向 ^(※2) (%)	16%	17%	56%	91%	26%	47%	-	-
自己株式取得 (百万円)	-	-	-	52	411	1,432	1,201	機動的な自己株式取得

※1: 1株当たり配当金27円以上(23/12期首・期末平均の株主資本×DOE2%から計算)

※2: 実績は各年度の当年度配当金額+当年度の自己株式取得額

2023年度は純利益がマイナスであり、総還元性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示



2024年12月期
第1四半期トピックス

現状の取り組み

- 国内外の工場拡張や新規市場の開拓に注力
 - 海外営業部門を新設し、東アジア・東南アジア・アメリカを中心に営業活動を展開し、海外新規顧客の開拓に注力
 - 主力の製麺機と無菌包装米飯製造システムの生産体制強化
 - ✓ 中国・厦門工場内に食品機械新工場が稼働開始(2023年1月)
 - ✓ 加賀事業所内に食品機械新工場が竣工(2023年11月)

アジア地域における直近実績

韓国

韓国食品産業大手・HARIM GROUPから無菌包装米飯製造システムを受注(受注額約20億円)

業界初「ハイブリッド殺菌方式」導入

従来 ①「無菌包装米飯」 or ②「レトルト米飯」

業界初「ハイブリッド殺菌方式」
(①無菌包装+②レトルト)

常温での
長期保存性
UP

▼無菌包装米飯製造システム



※ラインの一部



※イメージ

インド

インド国内インスタント麺市場シェア第2位のITCから受注(当社食品機械事業においてインド初)

- 新たな製法を検討・確立した後、納入する真空押出機は生産ラインに量産機が本格的に導入される予定
- インドのインスタント麺市場の成長予測は、現在の18.4億米ドルから2028年には約2倍の34.9億米ドル

▼インスタント麺用の真空押出機



※イメージ

食品機械事業 今後の米飯市場の見通し

◆年々高まる包装米飯の需要

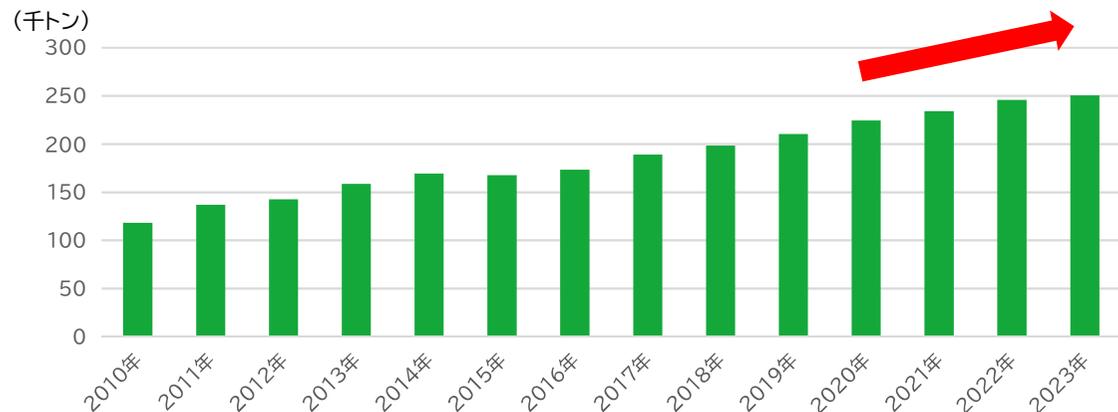
日本市場

生産量は年々増加

- ・災害時の家庭内備蓄の必要性
- ・新型コロナウイルスの流行により
無菌包装米飯が注目
- ・調理の利便性の追求

中華圏・アジア市場
導入期へ

年別包装米飯生産量(日本)の推移



出典:農林水産省「食品産業動態調査」

◆米飯装置の潜在的市場規模

中華圏 アジア市場

- ・日本と同様に米を主食とする中華圏やアジアでも需要が増加し、グローバルに拡大
- ・日本の5倍の市場ポテンシャルを見込む

日本の米飯製造装置
納入台数※1



約30ライン

※1 各種資料より当社推定



中華圏・アジア市場の
普及倍率※1

5倍



潜在的市場規模

150ライン※3

※3 1ライン:15~20億円程度

▶中国、韓国、ベトナム、タイ、インド、米国 等をターゲット市場として、米飯装置の拡販を目指す



参考資料

- 1.業績の推移
- 2.各指標の推移
- 3.事業別業績の推移
- 4.放電加工機受注台数・販売台数
- 5.事業別海外売上高比率
- 6.保守サービス比率
- 7.事業セグメントの構成と主要製品
- 8.新製品
- 9.展示会情報

業績の推移（四半期ベース）



2022年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	19,604	136.9%	19,712	97.6%	20,441	105.0%	20,737	97.8%
売上原価	13,050	135.0%	13,126	99.7%	13,865	110.3%	13,629	96.9%
売上原価率	66.6%		66.6%		67.8%		65.7%	
営業利益	1,907	449.0%	1,571	68.6%	1,078	48.3%	1,255	67.4%
営業利益率	9.7%		8.0%		5.3%		6.1%	
経常利益	2,975	252.9%	2,982	114.4%	1,779	77.6%	537	21.4%
経常利益率	15.2%		15.1%		8.7%		2.6%	
当期純利益	2,113	242.6%	2,007	113.0%	1,033	59.8%	867	39.2%
当期純利益率	10.8%		10.2%		5.1%		4.2%	

上期		下期		通期		
	前期比		前期比		前期比	
	39,317	113.9%	41,178	101.3%	80,495	107.1%
	26,176	114.6%	27,493	103.2%	53,670	108.5%
	66.6%		66.8%		66.7%	
	3,479	128.2%	2,333	56.9%	5,813	85.3%
	8.8%		5.7%		7.2%	
	5,958	157.5%	2,317	48.2%	8,275	96.4%
	15.2%		5.6%		10.3%	
	4,121	155.6%	1,900	48.2%	6,021	91.4%
	10.5%		4.6%		7.5%	

2023年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	16,884	86.1%	16,594	84.2%	16,456	80.5%	17,238	83.1%
売上原価	11,574	88.7%	11,662	88.9%	12,064	87.0%	12,591	92.4%
売上原価率	68.5%		70.3%		73.3%		73.0%	
営業利益	318	16.7%	-708	-	-1,014	-	-1,414	-
営業利益率	1.9%		-4.3%		-6.2%		-8.2%	
経常利益	508	17.1%	333	11.2%	-492	-	-1,606	-
経常利益率	3.0%		2.0%		-3.0%		-9.3%	
当期純利益	141	6.7%	-244	-	-786	-	-3,714	-
当期純利益率	0.8%		-1.5%		-4.8%		-21.5%	

上期		下期		通期		
	前期比		前期比		前期比	
	33,479	85.2%	33,695	81.8%	67,174	83.5%
	23,236	88.8%	24,655	89.7%	47,892	89.2%
	69.4%		73.2%		71.3%	
	-390	-	-2,428	-	-2,819	-
	-1.2%		-7.2%		-4.2%	
	841	14.1%	-2,099	-	-1,257	-
	2.5%		-6.2%		-1.9%	
	-103	-	-4,501	-	-4,604	-
	-0.3%		-13.4%		-6.9%	

2024年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	15,636	92.6%						
売上原価	11,120	96.1%						
売上原価率	71.1%							
営業利益	-780	-						
営業利益率	-5.0%							
経常利益	-187	-						
経常利益率	-1.2%							
当期純利益	-497	-						
当期純利益率	-3.2%							

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比

各指標の推移

従業員数の推移

(人)

	18/12	19/06	19/12	20/06	20/12	21/06	21/12	22/06	22/12	23/06	23/12	24/03
単体	755	801	841	869	886	914	924	987	1,087	1,170	1,183	1,183
連結	3,676	3,625	3,579	3,576	3,633	3,670	3,683	3,772	3,746	3,778	3,562	3,504

*単体には子会社への出向者を含めておりません。

*単体・連結ともに臨時雇用者は含めておりません。

各指標の推移

	20/12	21/12	22/12	23/12	21/03	22/03	23/03	24/03	
売上債権回収期間(ヶ月)	3.2	3.3	2.8	2.9	3.4	3.1	3.0	3.1	*売上債権回収期間:売上債権/売上高(月商)
棚卸資産回転期間(ヶ月)	4.4	4.4	5.1	5.8	5.0	4.6	6.2	6.3	*棚卸資産回転期間:棚卸資産/売上高(月商)
仕入債務回転期間(ヶ月)	1.7	2.1	1.8	1.6	2.1	2.0	2.1	1.7	*仕入債務回転期間:仕入債務/売上高(月商)
固定資産回転率	1.5	2.0	1.7	1.4	1.5	1.8	1.4	1.4	*固定資産回転率(年換算):売上高/固定資産
有利子負債回転期間(ヶ月)	8.6	5.4	4.9	6.7	9.5	5.2	6.1	7.4	*有利子負債回転期間:有利子負債/売上高
自己資本比率(%)	49.9	55.2	58.5	57.5	47.1	55.9	57.8	56.3	*時価ベース自己資本比率:
時価ベース自己資本比率(%)	35.7	32.8	26.8	27.6	37.9	30.3	28.1	26.3	期末株価終値×期末発行株式数(自己株式控除後)
ROE(%)	2.3	10.0	7.8	-5.8	5.9	11.1	0.7	-2.6	*ROE(年換算):当期純利益/期首期末平均自己資本
ROA(%)	1.2	5.3	4.4	-3.4	2.8	6.2	0.4	-1.5	*ROA(年換算):当期純利益/期首期末平均総資産
D/Eレシオ(倍)	0.74	0.49	0.46	0.59	0.80	0.49	0.50	0.62	*D/Eレシオ:有利子負債/株主資本
債務償還年数(年)	6.2	4.4	9.2	-	-	-	-	-	*債務償還年数:有利子負債/営業キャッシュフロー
インタレスト・カバーレシオ(倍)	23.1	23.4	11.9	-	-	-	-	-	*インタレスト・カバーレシオ:営業キャッシュフロー/利払い

放電加工機受注台数・販売台数



放電加工機 受注台数

(台)

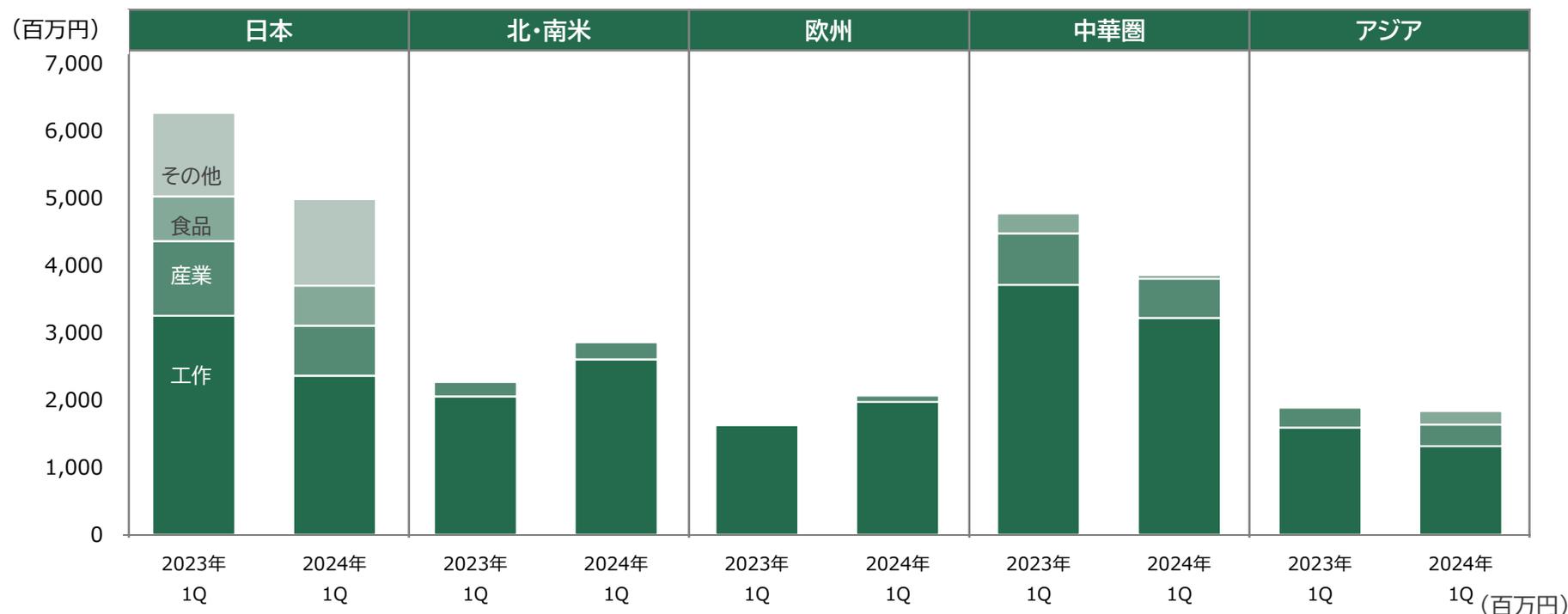
	2022年12月期					2023年12月期					2024年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	81	58	56	83	278	70	63	70	74	277	65				
欧州	96	106	58	94	354	70	56	83	76	285	63				
中華圏	578	619	340	292	1,829	341	288	236	226	1,091	315				
アジア	92	93	93	60	338	64	84	94	42	284	59				
日本	120	91	90	96	397	51	52	69	58	230	48				
合計	967	967	637	625	3,196	596	543	552	476	2,167	550				

放電加工機 販売台数

(台)

	2022年12月期					2023年12月期					2024年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	68	58	73	86	285	66	77	59	72	274	76				
欧州	108	97	80	88	373	84	65	79	63	291	72				
中華圏	514	522	418	352	1,806	284	338	262	221	1,105	240				
アジア	89	66	110	95	360	59	59	87	71	276	51				
日本	125	105	79	86	395	108	64	65	76	313	70				
合計	904	848	760	707	3,219	601	603	552	503	2,259	509				

事業別海外売上高比率

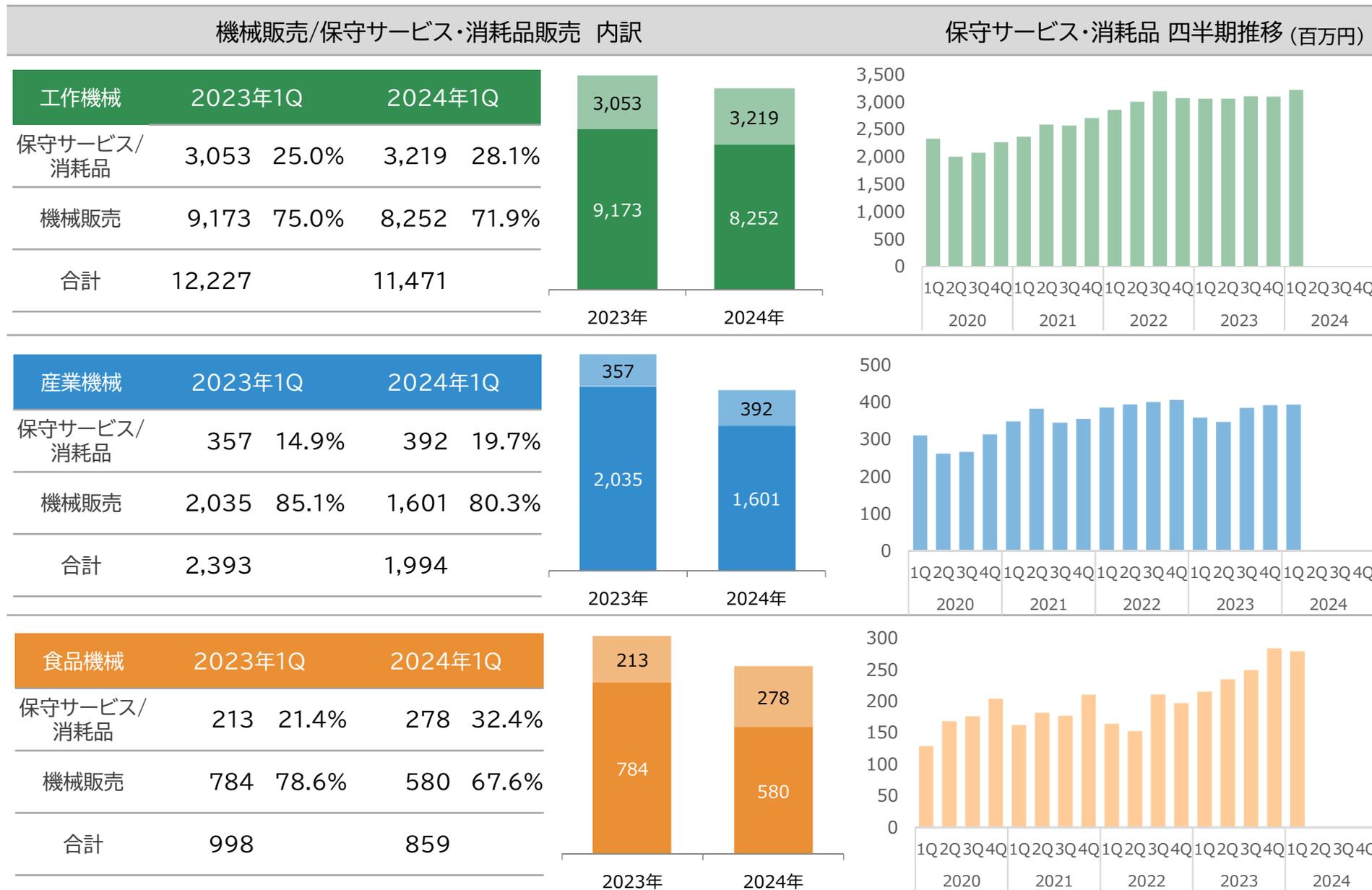


2023年1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	3,249	26.6%	2,051	16.8%	1,627	13.3%	3,709	30.3%	1,589	13.0%	12,227	72.4%
産業機械	1,110	46.4%	218	9.1%	—	—	765	32.0%	298	12.5%	2,393	14.2%
食品機械	663	66.5%	10	1.0%	—	—	297	29.8%	27	2.7%	998	5.9%
その他	1,241	98.1%	—	—	—	—	24	1.9%	—	—	1,265	7.5%
地域別計	6,265	37.1%	2,280	13.5%	1,627	9.6%	4,796	28.4%	1,914	11.4%	16,884	100.0%

2024年1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	2,362	20.6%	2,601	22.7%	1,971	17.2%	3,219	28.0%	1,316	11.5%	11,471	73.4%
産業機械	741	37.2%	258	13.0%	92	4.6%	583	29.3%	317	15.9%	1,994	12.7%
食品機械	594	69.2%	6	0.8%	—	—	55	6.5%	201	23.5%	859	5.5%
その他	1,285	98.0%	—	—	—	—	26	2.0%	—	—	1,311	8.4%
地域別計	4,985	31.9%	2,866	18.3%	2,063	13.2%	3,884	24.8%	1,836	11.8%	15,636	100.0%

為替の影響額 — +約 2.8 億円 +約 2.5 億円 +約 2.4 億円 +約 0.7 億円 +約 8.3 億円

保守サービス比率



事業セグメントの構成と主要製品

セグメント	工作機械	産業機械	食品機械
<p>主要製品</p>	<p>【形彫り放電加工機】【ワイヤ放電加工機】</p>   <p>【細穴加工機】 【金属3Dプリンタ】</p>   <p>【マシニングセンタ】【レーザ加工機】</p>  	<p>【横型射出成形機】</p>  <p>【縦型射出成形機】</p>  <p>【軽金属射出成形機】</p> 	<p>【製麺機(製麺ライン)】</p>   <p>【無菌包装米飯製造装置】 ※製造ラインの一部</p>  <p>【その他食品加工機】</p>  
<p>販売市場</p>	<p>自動車、家電、電気電子機器、航空宇宙、医療機器、エネルギー 等</p>	<p>自動車、電気電子機器、医療機器 等</p>	<p>製麺(チルド麺、LL麺、冷凍麺等)、パックご飯、製菓・製パン、総菜、野菜加工 等</p>
<p>生産拠点</p>	 <p>加賀</p>  <p>タイ</p>  <p>廈門</p>  <p>蘇州</p>	 <p>加賀</p>  <p>タイ</p>	 <p>加賀</p>  <p>廈門</p>

2024年1Qリリース新製品

工作

サブスクリプションサービス 「サブスク TRY」を開始

- ◆ 月々定額でワイヤ放電加工機が利用可能
- ◆ 短期間での利用が可能
- ◆ 安心のアフターサービス付帯

<対応機種>

医療・航空宇宙分野 向け
「VN400Q」「VN600Q」



産業

進化した V-LINE® 「GL_G2 シリーズ」

- ◆ 精密・電子・光学・医療機器分野向け
- ◆ 国際安全規格ISO20430準拠
- ◆ 成形時の異物低減、樹脂の色替・充填性能向上



産業

進化したハイブリッド 「VT G シリーズ」

- ◆ 自動運転・センシング・5G通信分野等で使用される精密コネクタ向け
- ◆ 安定成形と高品質な加工に強み
- ◆ 新コントローラー搭載



2024年12月期1Q展示会情報(プライベートショー)

第1四半期において8年ぶりに本社技研センター(横浜)、大阪営業所、静岡テックセンターにて、プライベートショー(技術内覧会)を開催いたしました。当社のお取引先中心に累計1,000名超の方々にご来場いただき多くの引き合いをいただいております。

大阪



本社 技研センター(横浜)



静岡



留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111 FAX:045-943-5835